



趣 意 書



社会福祉法人薄光会は、重度・最重度の知的障がいをもつ子どもの親たちによって設立され、親たち当事者家族と職員により運営されている法人です。

重い障がいゆえに、行き場が無かった我が子たちの将来をなんとか切り開こうと、参集した親たちがお金も手蔓も無い中、千葉県富津市豊岡の地に縁あって理解・協力を得、足掛け 5 年の歳月をかけて、知的障害者更生施設「豊岡光生園」を設立いたしました。昭和 55 年 7 月のことです。爾来、私たちは長い歳月のうちに、まがりなりにも地域に根を張ることが出来たように思います。

この間、職員たちが真摯に向き合ってきた我が子たちは、持てる可能性を花開かせ、それぞれに居場所を得て、着実な一歩いっぽを歩んできました。親たちにとっては、それまでの苦勞を希望へと変える手応えがありました。多くの仲間が増えました。これも偏に、たくさんの方々の温かい励ましや支えがあったればこそと、感謝せずにはおれません。

しかしながら、30 年余の歳月は、手塩にかけ親の思いを込めた豊岡光生園を古びさせ、居住環境を劣化させ、いつの間にか時代遅れのものへと変えていきました。40 代後半になった障がいの重い我が子たちの、今後も変わらぬ安寧な暮らしを思うとき、施設のリニューアルという懸案の課題がいつそう切実なものになっています。多く親たちが老骨に鞭打つ身となり、何人かが物故した現在、支え手の親たちの世代交代の取組みとともに、いささか重い課題がありますが、長年労苦をともにしてきた職員たちと奮闘しているところです。大きな力を持たない私たちには、様々な制約や壁が多く立ちはだかっているのですが、悔いの残らない考えられる最良のものを我が子に遺していきたいという思いでいっぱいです。課題には、重複障がい（重症心）の仲間の今後の暮らしの手立てである短期入所受入のための居室・設備整備もあります。



私たちは、平成 24 年度末を目途に豊岡光生園のリニューアルを実現させたいと取り組んでいます。これまでに多くの方々から多大なご厚情が寄せられました。以前より鋭意努力して積み立ててきた施設整備積立金と合わせて（助成団体の補助金ももちろん視野に入れつつ）、リニューアルのための資金目標額 2 億 2 千万円の達成に至りたいと考えていますが、まだ届きません。引き続き、多くの方々のご支援をお願いする次第です。我が子たちが親亡き後も無事生きていけますよう、一連の手立てが叶いますよう、どうか、皆様の温かいご支援を賜りますように心よりお願い申し上げます。



社会福祉法人 薄光会

保護者・家族の会 会長 山崎照海